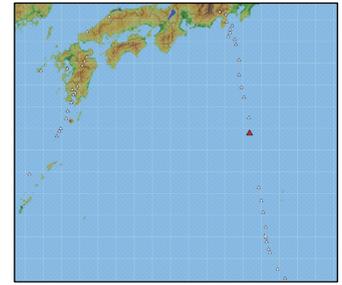


(69. 孀婦岩)

69. そうふがん 孀婦岩 Sofugan

北緯 29° 47' 39" 東経 140° 20' 31" 標高 99m (標高点・独自に計測)



孀婦岩全景 西側上空から 2002年9月5日 海上保安庁撮影

概要

東京の南約 660km、伊豆鳥島の南方約 76km に位置する黒色のカンラン石単斜輝石玄武岩からなる孤立突岩(高さ 100m、東西 84m、南北 56m)である。孀婦岩を頂部とする地塊は東西約 10km 離れた比高 1500~2000m の 2 つの山体から構成されている。東の山体の頂部には、孀婦岩を含む高まりが、北東-南西に長軸をもつ楕円形の円錐台となって分布する。孀婦岩周辺には、水深 140m 付近に地形の変換点をもつ平坦な島棚が形成されている。孀婦岩の南西 2.6km には、水深 240m で、周囲からの 120m 程度の比高を有する火口があり、孀婦岩を含む高まりは、この火口の北東部を覆うように発達している。構成岩石の SiO_2 量は 49.9~55.9 wt.% である。

地形図

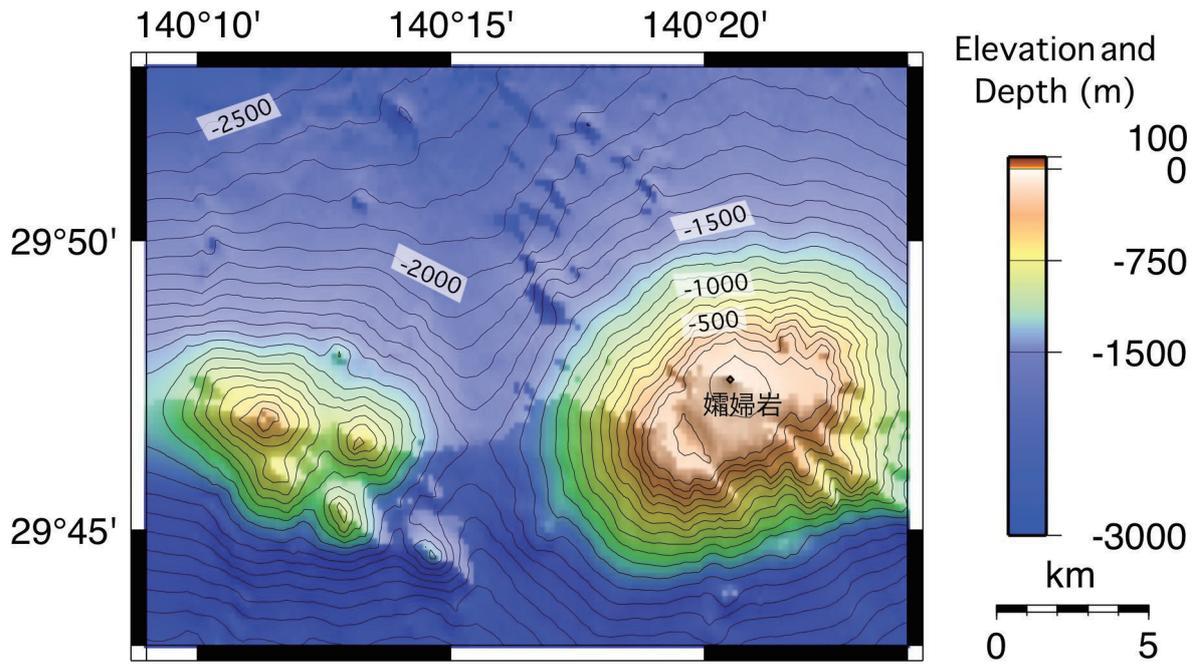


图 69-1 孀婦岩周辺の海底地形図 (海上保安庁海洋情報部).

地質図

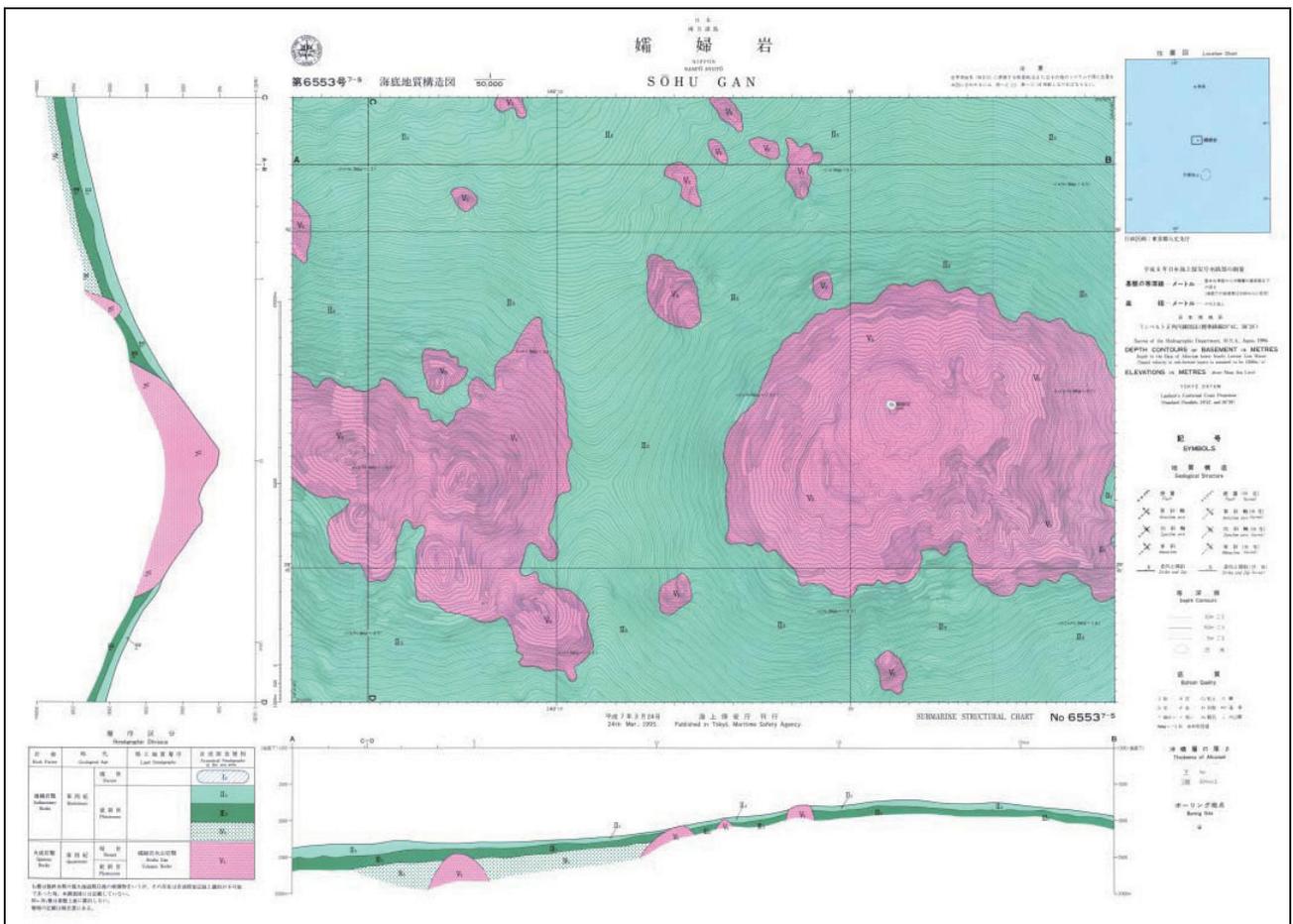


图 69-2 孀婦岩の地質構造図 (海上保安庁, 1995).

噴火活動史

・有史以降の火山活動

年代	現象	活動経過・被害状況等
1975(昭和50)年 ¹	(海水変色) ¹	噴火場所は嬬婦岩の北方約500m ¹ 。緑色の変色水。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)および海域火山データベース(海上保安庁海洋情報部, 2006)を参考とした。

【引用文献】

1. 大谷康夫・土出昌一・芝田 厚・加藤 茂・岩渕義郎 (2004) 日本周辺海域火山通覧(第3版). 海洋情報部研究報告, 40, 1-62.

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
東京管区気象台総務部業務課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-2949

引用文献

海上保安庁 (1995) 嬬婦岩 日本・南方諸島 : 海底地質構造図. 沿岸の海の基本図(5万分の1), 6553⁷⁻⁸, 海上保安庁.